



れんげは見たより 10から

担任 山口 坂本



秋の虫たちの声があちらこちらから聞えるようになりました。

お友達達は、今、バツさんにちめてお友達のお虫たちと触れ合い遊んでいます。
先日、園庭に大きなカマギリさんがやって来ているのを見つけ、どのお友達も皆、集ま
きて興味津々です。少しも怖がることなく身を乗り出し、のびき込んで自分たちから
触れようと手を伸ばしていました。カマギリさんの興味深い動き、表情を楽しんでい
ました。そして捕まえるにはカマギリさんの動きの方が速く、なかなか捕まえられませんが、
捕まえてみるとカマがおり「痛！」と痛い体験もしましたが、カマギリさんへの親
しみは大きく膨らんだようです。

また下畑に行くと、ゴロギ、バツ、カエル、てんとう虫、ちょうちん、みみずと沢山の虫さんに出逢え
触れ合い遊んでいます。

そして自分達は、バツさんにちめてお山を駆け降りることも楽しんだり、ヨーイドン!!と走
りこも楽しんだり、高い所から飛び降りることも楽しんだり、じも身体もたくましく
なっているお友達達です。

今月は秋の自然の中へかけ、自然と触れ合い豊かな感性を育み、丈夫な足腰と
たくましい心と身体、思いやりや優しさも育てていきたいと思ひます。



食育の
お楽しみ

・秋の自然の中へかけ丈夫な足腰と豊かな感性を育てよう
・お話を聞いてイメージをふくらませ一人ひとりの言語を引き出そう
・パズルさんの愛情を感じながら優しい心、思いやりの心を育てよう



自分の思いが言葉になってきましたよ～!!

日常生活の中で、お友達達の言葉が、どんどん出てくるようになりました。

そしてその中には、お友達を思いやる言葉もありとても感動的です。

困っているお友達の側にいき、「大丈夫?」と声かけていたり、保育士の膝に座る
のに「半分こ」と言って片方の膝を空けさし出したり...

「ちょうだい」、「いいよ」など、ちゃんと社会性が育ってきているんだね～と日々

成長を感じます。もちろん色んな物の名称の数も増え、二語文にも

なり、「あ、いいね～」と言って喜んでいきます。

